

Flash Editor の使い方

[Ver.FE.001]

I. 概要

Flash Editor はカスタムデータ (PHASE1/2) の入れ方の違いで、下記 2 タイプに分けられます。

【A】初期化ツールタイプ：初期化ツールを使用して、Flash Editor 本体にカスタムデータを入れ込む。

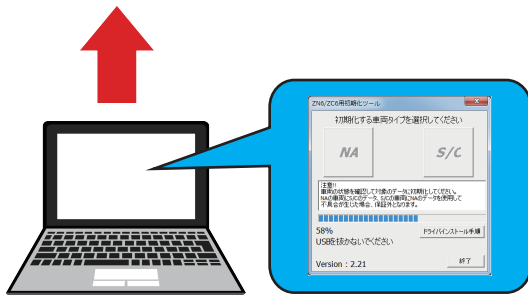
【B】Flash Editor 本体で生成タイプ：ノーマル ECU データを読み込み、それを基に Flash Editor 本体でカスタムデータを生成する。

【A】初期化ツールタイプ

① ECU ID を読み込む
(初回のみ)



③ ECU 書替え



② 「初期化ツール」を使用して、Flash Editor を“初期化”する (初回のみ)

※ ECU 書替え作業の際、Flash Editor 以外に必要なもの

- ・ Windows パソコン (Windows 10/8.1/8/7)
- ・ USB ケーブル (USB[A] オスー USB[micro-B] オス)

対象品番

品 番	メーカー	対応車種
42015-AF105	SUBARU	VMG/VAG
42015-AH101	HONDA	AP2
42015-AH102		ZF1
42015-AH103		JG1
42015-AH104		JW5
42015-AT101	TOYOTA/SUBARU	ZN6/ZC6
42015-AZ101	MAZDA	ND5RC
42015-AZ102		ATENZA/CX-5

2016/8 時点で販売中の品番リスト

【A】の書替え手順は P3 へ

【B】Flash Editor 本体で生成タイプ

① ノーマル ECU
データを読み込む
(初回のみ)



③ ECU 書替え



② Flash Editor 本体でカスタムデータを生成する (初回のみ)

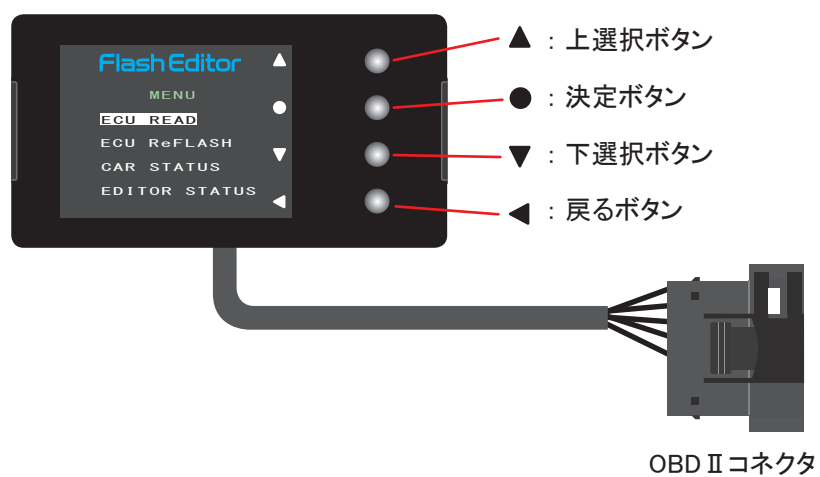
対象品番

品 番	メーカー	対応車種
42015-AF101	SUBARU	GRF/GVF
42015-AF102		GRB/GVB
42015-AF103		BR9/BM9
42015-AF104		VAB
42015-AM101	MITSUBISHI	CZ4A

2016/8 時点で販売中の品番リスト

【B】の書替え手順は P8 へ

【Flash Editor 本体の操作ボタン】

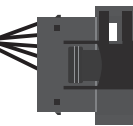


Ⅱ. 書替え作業の流れ

～【A】初期化ツールタイプの書替え手順～

① ECU ID を読み込む（初回のみ）

1. Flash Editor の OBD II コネクタを車両に接続する。



OBD II コネクタ



2. IG を ON にする（エンジンは掛けない）。

3. 「ECU READ」で車両の ECU ID を読み込む。



「ECU READ」を選択し決定



「READ START」を選択



決定



読み込みが始まり 10 秒程度で完了



「READ COMPLETED」と表示されたら読み込み完了

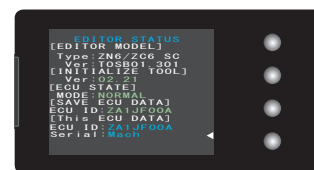
【ECU READ 前後の「EDITOR STATUS」の表示】



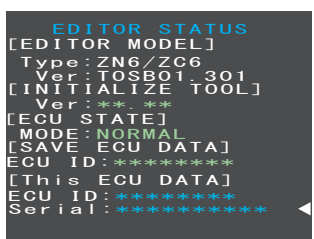
IG ON の状態で「EDITOR STATUS」を選択



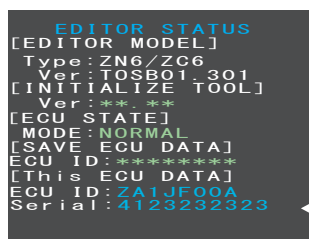
決定



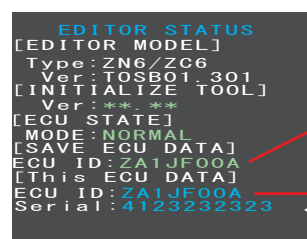
「EDITOR STATUS」の画面



【ECU READ 前】
(IG が OFF の場合)



【ECU READ 前】
(IG は ON の状態)



【ECU READ 後】
(IG は ON の状態)

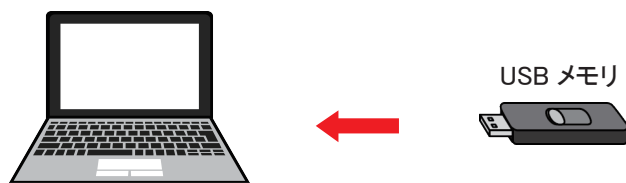
読み込んで保存した
ECU ID

接続している車両
の ECU ID

4. IG を OFF にして、Flash Editor の OBD II コネクタを車両から取外す。

②「初期化ツール」を使用し、Flash Editor を“初期化”する。

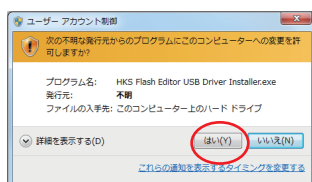
- Flash Editor に同梱の USB メモリをパソコンに接続し、初期化ツールを立ち上げる。



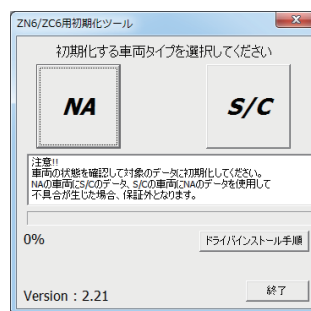
USB メモリの中身

名前	更新日時	種類	サイズ
bin	2016/08/01 9:57	ファイル フォル...	
FlashEditor_PC_USBDriver	2016/08/01 9:57	ファイル フォル...	
img	2016/08/01 9:57	ファイル フォル...	
installationDriverManual.htm	2013/05/15 18:13	Firefox HTML D...	5 KB
installationDriverManual_E.htm	2013/05/15 18:13	Firefox HTML D...	4 KB
SPLASH.bmp	2013/03/25 17:26	ビットマップ イ...	589 KB
ZN6ZC6init.VER	2015/06/16 16:37	VER ファイル	1 KB
ZN6ZC6InitializationTool.ENU	2015/06/08 17:57	ENU ファイル	41 KB
ZN6ZC6InitializationTool.exe	2015/06/08 17:57	アプリケーション	933 KB
ZN6ZC6InitializationTool.JPN	2015/06/08 17:57	JPN ファイル	38 KB

初期化ツールの
アプリケーション
を実行する

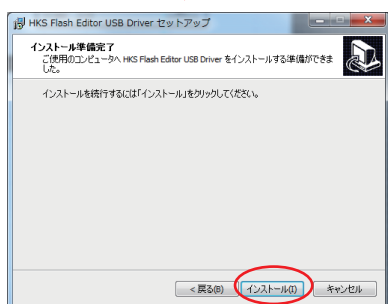
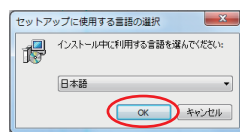
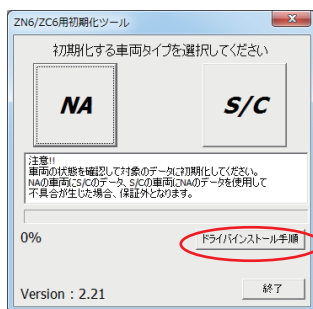


ユーザーアカウント制御の画面が出た場合
「はい」を選択する



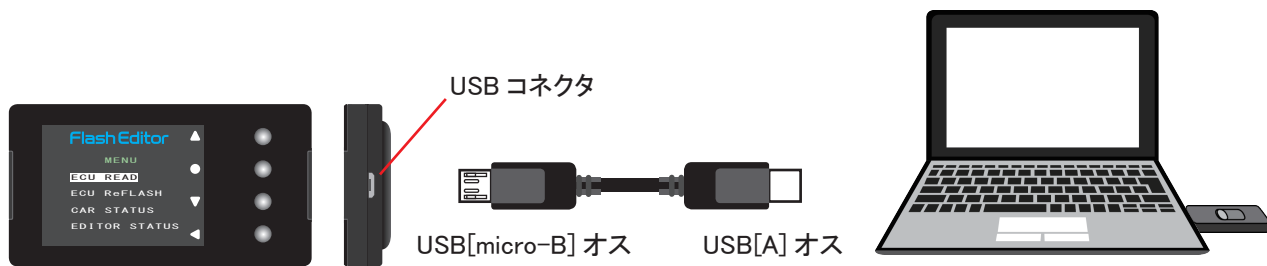
初期化ツールの画面

- 初期化ツールの「ドライバインストール手順」ボタンをクリックし、表示される手順に従ってドライバーをインストールする。



完了をクリックしてウィンドウを閉じる

3. Flash Editor とパソコンを USB ケーブルで接続する。

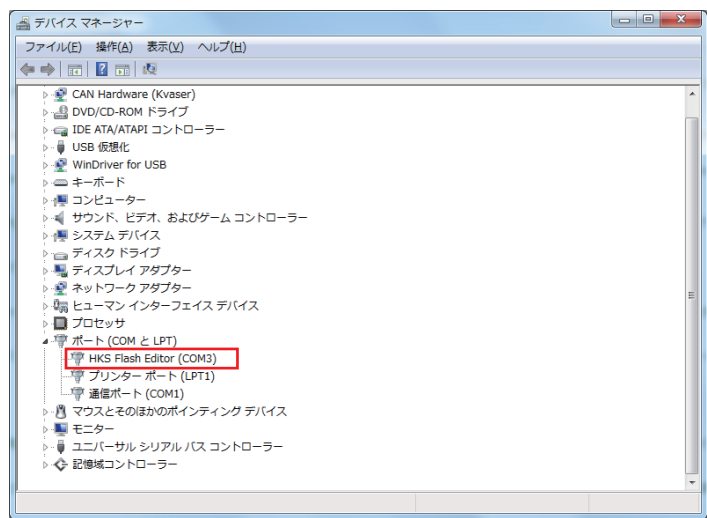


※ USB ケーブルは通信用を使用してください。
充電専用ケーブルでは通信できません。

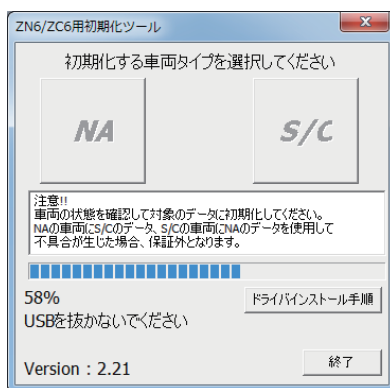
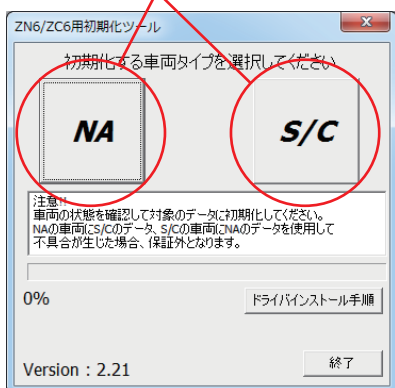
【Flash Editor とパソコンの接続確認】

Flash Editor 用 USB ドライバが正常にインストールされた状態で Flash Editor をパソコンに接続すると、「デバイスマネージャー」の「ポート」に「HKS Flash Editor」の名前が表示されます。

「HKS Flash Editor」の名前が表示されない場合、ドライバが正常にインストールされていないか、USB ケーブルまたは USB コネクタの不良が考えられます。



4. 使用する車両の仕様に合ったデータ（NA または S/C）のボタンをクリックして、“初期化”を開始する。
 ※ ターボチャージャー仕様の車両では、S/C ではなく T/C の表記になります。
 NA または S/C ボタンをクリックする。



完了をクリックしてウインドウを閉じる

“初期化”が始まり 5 分程度で完了
 （初期化時間は車種やパソコンの状態などで異なります。）

【初期化前後の「ECU ReFLASH」画面の表示】



IG ON の状態で「ECU ReFLASH」を選択



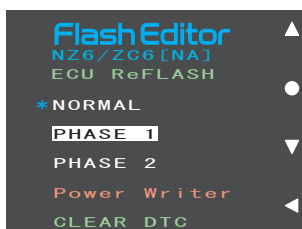
決定



「ECU ReFLASH」の画面



【初期化前】



【初期化後】

データ名	内容
NORMAL	ノーマルデータ 〔車両の修理や車検の際は、ECU を必ずノーマルデータに書戻してから業者に引き渡してください〕
PHASE1	カスタムデータ1
PHASE2	カスタムデータ2
Power Writer	Power Writer 店でのみ利用可能

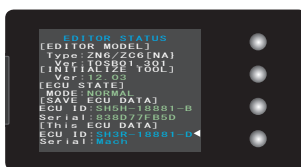
【初期化前後の「EDITOR STATUS」の表示】



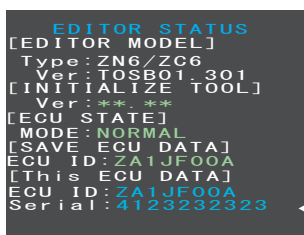
IG ON の状態で「EDITOR STATUS」を選択



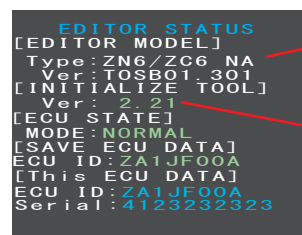
決定



「EDITOR STATUS」の画面



【初期化前】



【初期化後】

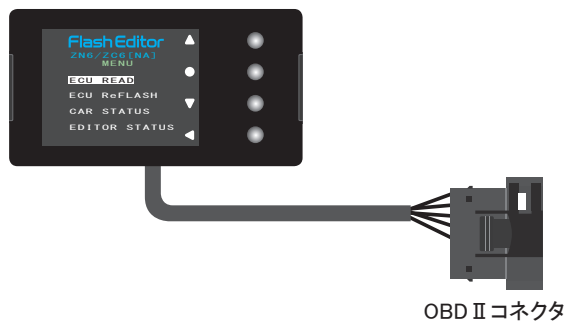
初期化するとデータの仕様が表示される

使用した初期化ツールのバージョン

5. パソコンから Flash Eitor を取外す。

③ ECU 書替え

- Flash Editor の OBD II コネクタを車両に接続する。



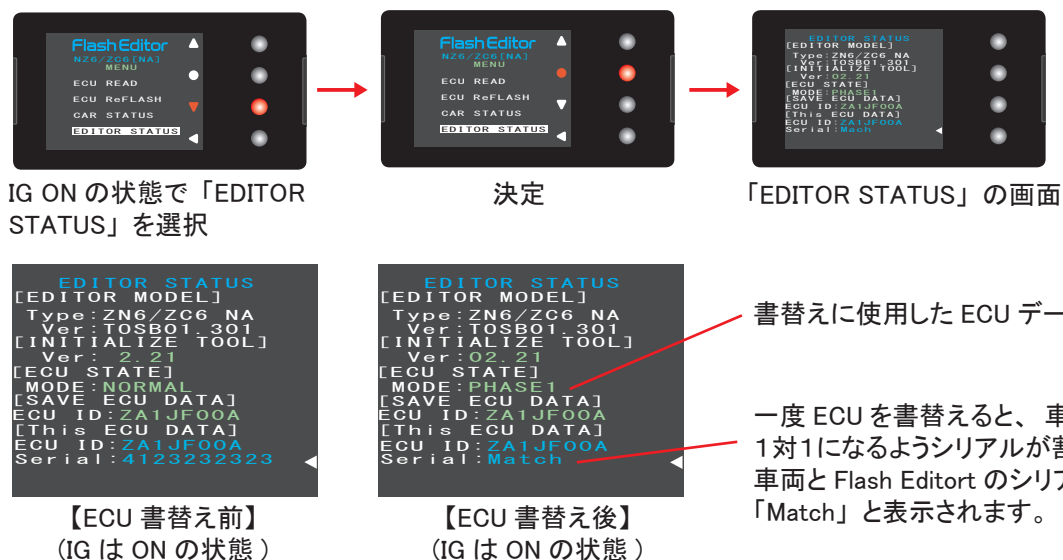
- IG を ON にする（エンジンは掛けない）。

- 「ECU ReFLASH」で ECU を書替える。



- IG を OFF にして、Flash Editor の OBD II コネクタを車両から取外す。

【ECU 書替え前後の「EDITOR STATUS」の表示】



書替え直後は一度 IG を OFF し、再度 IG を ON の状態にしてください。

～【B】Flash Editor 本体で生成タイプの書替え手順～

① ECU ID を読み込む（初回のみ）

- Flash Editor の OBD II コネクタを車両に接続する。



OBD II コネクタ



- IG を ON にする（エンジンは掛けない）。
- 「ECU READ」で車両の ECU ID を読み込む。



「ECU READ」を選択し決定



「READ START」を選択



決定



読み込みが始まり 2 分程度で完了



「READ COMPLETED」と表示されたら読み込み完了

（読み込み時間は車両の状況により異なります。）

- IG を OFF にする。
- 戻るボタン“◀”を押してメニュー画面に戻る。
（IG を OFF した直後は操作を受け付けなくなっているため、数秒後に操作してください。）

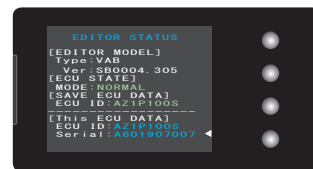
【ECU READ 前後の「EDITOR STATUS」の表示】



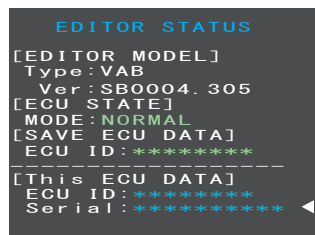
IG ON の状態で「EDITOR STATUS」を選択



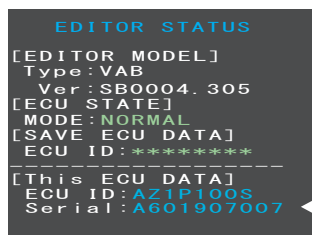
決定



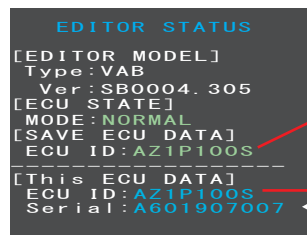
「EDITOR STATUS」の画面



【ECU READ 前】
（IG が OFF の場合）



【ECU READ 前】
（IG は ON の状態）



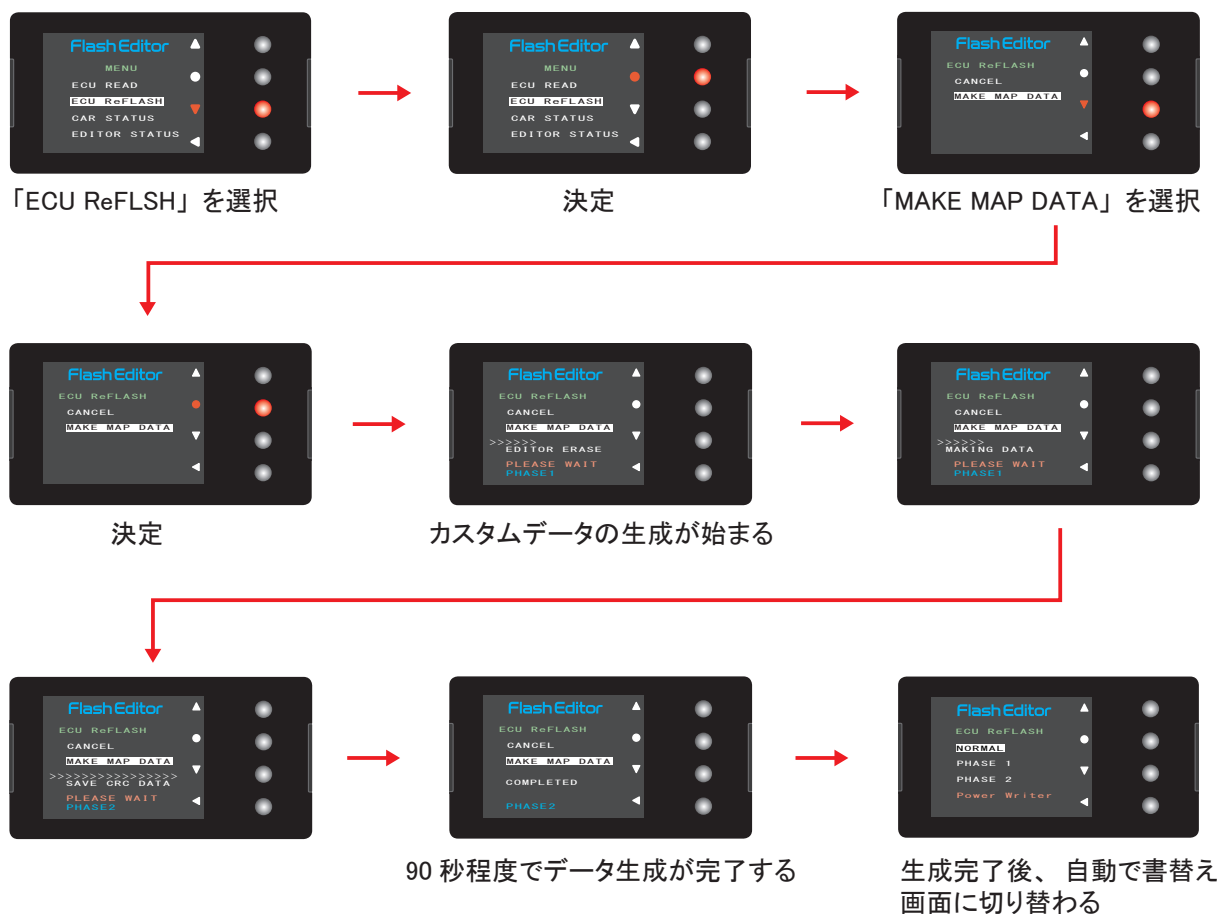
【ECU READ 後】
（IG は ON の状態）

読み込んで保存した
ECU ID

接続している車両
の ECU ID

② Flash Editor 本体でカスタムデータを生成する（初回のみ）

IG を OFF のまま、「ECU ReFLASH」→「MAKE MAP DATA」を選択しカスタムデータを生成する。



③ ECU 書替え

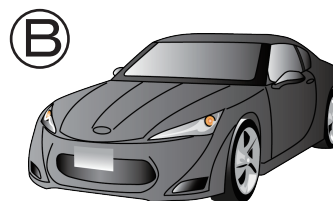
カスタムデータ生成後の作業は、【A】初期化ツールタイプと共通。（P7-③「ECU 書替え」へ）

Ⅲ. Flash Editor を別の車両で使用したい場合

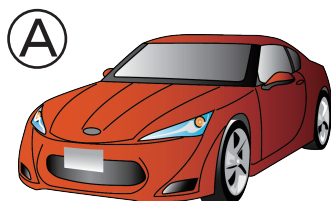
- Flash Editor1台につき、1台の車両でのみECUの書替えができます。



他の車両では使用不可



1対1でのみ使用可



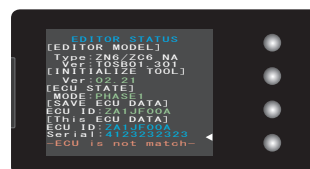
Flash Editorを使用中の車両

別の車両に接続した場合


使用中のFlash Editorで別の車両を書替えようとすると、**「This ECU is not correct」**のエラーメッセージが表示され書替えできません。



この状態で EDITOR STATUSの画面を開くと、**「-ECU is not match-」**のエラーメッセージが表示されます。



● Aの車両で使用していたFlash Editorを、Bの車両で使いたい場合

- ・ Aの車両()にPHASEデータを書込んだままの状態だと、「READ START」が赤文字表示になっていて選択できません。




READ STARTが赤文字で、選択不可

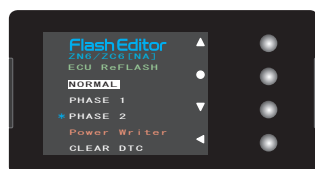


ECU READ不可

Ⓑ



- ・ Aの車両()をNORMALに戻すことで「ECU READ」を選択できるようになります。



NORMALデータ書込み

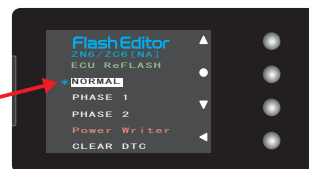


Ⓐ

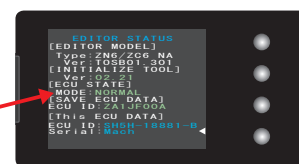


NORMALデータ書込み後

“*” 印が NORMAL
の位置に移動



ECU STATE が
“NORMAL”



- ・ Flash EditorのSTATUSがNORMALの場合 ECU READ可能なので、Bの車両()で使えるようになります。



READ STARTが選択可



ECU READできる

Ⓑ



ECU READ後



Bの車両で ECU READすると、
Flash Editorはリセットされます。

↓
改めて「初期化ツール」を使用して
Flash Editorを“初期化”することで、
Bの車両で使えるようになります。

(「Flash Editor本体で生成タイプ」の
場合は、MAKE MAP DATAすることで
Bの車両で使えるようになります。)